

2016年(平成28年)9月2日<金曜日> 日刊

(土・日・祝日休刊)



総会

●全国非開削普及協議会

全国非開削普及協議会(岡本州雄会長)は8月26日、第13回定期総会を都内で開いた。岡本会長=写真=は「各地で局所的な集中豪雨による浸水被害や、台風による洪水などの災害が後を絶たない。当協議会では市民の安全・安心のためにも、推進工法、EGSM工法、インナーウェイト工法の受注拡大を図っていく」と2016年度方針を示した。

16年度の事業計画・予算を、全会一致で承認。引き続き、全国ヒューム管協会の石川和秀専務理事が「推進技術の次なる進化の途、下請け体質からの決別こそ明日への途」と題した特別講演を開き、推進技術の進化の方向性や次世代を担う推進技術者の確保・養成について語った。



建通新聞

東京

発行所 建通新聞社
東京都中央区新富町4-9-1
新築プラザビル16階
〒105-0004 電話 03(429)-2070
多摩支店 電話 0427-7291
http://www.kentsu.co.jp/
創刊定価65円 40,200円(税込)
©建通新聞社 2016

発行所 建通新聞社
東京都中央区新富町4-9-1
新築プラザビル16階
〒105-0004 電話 03(429)-2070
多摩支店 電話 0427-7291
http://www.kentsu.co.jp/
創刊定価65円 40,200円(税込)
©建通新聞社 2016

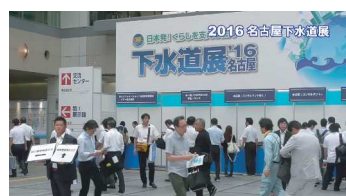
平成28年8月26日 メルパルク東京にて開催致しました
第13回定期総会の内容が各新聞に掲載されました

全国非開削普及協議会 第13回 定時総会

特別講演
「推進技術(業界)の次なる進化への途
下請け体質(根性)からの決別こそ明日への途」



2016 名古屋下水道展に今年も出展して 多方面沢山の方に広報活動を致しました



日本発「暮らしを支える底力」
下水道展'16 名古屋
7.26(水)~29(土) 4日間 ポートメッセなごや
10:00~17:00
入場無料



神戸新聞 2016年(平成28年)6月29日 水曜日

雨水を側溝から地中に放出、浸水被害軽減



排水溝に取り付けられた円筒形の浸透升。土をせき止めるフィルターを上からかぶせる＝姫路市吉田町

集中豪雨などによる街中の浸水被害を減らそうと、姫路市は今年、雨水を側溝から地中に放出する器具「浸透升」の設置を始める。市内200カ所での整備を目標に、対象の自治会など普及に向けて協議を促進。設置によって被害の軽減が見込まれるエリアを示したマップを作成した。(金 晃革)

市が設置費用を負担するが、維持管理は地元委ねるとい。同局下水道整備室は「升にこみがたまると効果が薄まる。雨が降る前に取り除くなど地元で担ってもらう必要がある。理解を求めている」としている。下水道整備室 ☎079・221・2148

同局はポリングク調査のデータを基に、市街化区域約1万1千から2年間、試験的に約4地域計15カ所から浸透升の設置の側溝などに設置し効果を検証。1時間当たり最大約900立方メートルの雨水が、高い浸透効果が認められる地域から優先的に取り付ける。

浸透升は無数の小さい穴を開けた塩ビ管で、中に砕石を入れて排水溝に取り付け、地中に雨水だけを染み込ませる仕組み。くぼ地にある住宅街では、大雨で側溝の水があふれる恐れがあり対策が課題だった。同局はポリングク調査のデータを基に、市街化区域約1万1千から2年間、試験的に約4地域計15カ所から浸透升の設置の側溝などに設置し効果を検証。1時間当たり最大約900立方メートルの雨水が、高い浸透効果が認められる地域から優先的に取り付ける。

名古屋下水道展及び第13回定期総会の模様は当協会のホームページにて動画配信しております是非ご覧ください

「浸透升」200カ所設置へ